

ANABAS
audio

CDクロックラジオシステム

AA-002

取扱説明書

保証書付

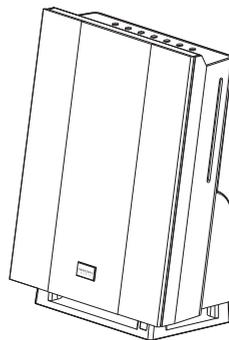
本書の裏表紙に保証書がございますので、
内容をよくご確認ください。

ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

日本国内専用

FOR USE IN JAPAN ONLY



ご購入いただきありがとうございます。

なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目次

● 安全上のご注意	2	● 受信できる局を探す(サーチ)	23
● Bluetooth®製品について	5	● よく聞く局を登録する(プリセット)	23
● 梱包品	5	● プリセットした局を聞く	24
● 各部の名前	6	● USBメモリーの音楽の聞き方	25
● お使いになる前の準備	10	● 音楽データを再生する前の準備	25
● 電源を準備する	10	● 音楽データを再生する	26
● 電源を入れる	11	● いろいろな聞き方(CD/USB)	27
● FM室内アンテナを接続する	11	● 再生モードの表示	27
● リモコンの電池を入れる	12	● 再生モードの選択	27
● リモコンの操作方法	12	● プログラム再生	27
● リモコン操作のご注意	12	● プログラムの解除	28
● 基本的な使い方	13	● レジューム再生	28
● 時刻を合わせる	13	● 時計表示の切り替え方	29
● 機能を切り替える	14	● ヘッドホンの使い方	30
● 音量を調整する	14	● 外部入力端子の使い方	31
● アラームを設定する	15	● リモコン無しで本機を操作する	32
● スリープを設定する	16	● 機能を切り替える	32
● 表示部の明るさを変更する	16	● 音量の調整	32
● Bluetooth®を使つての音楽の聞き方	17	● リモコン無しでの各操作	32
● Bluetooth®を使つての音楽再生を操作する	17	● お手入れ	35
● CD取扱上のご注意	18	● 本体のお手入れ	35
● CD使用時のご注意	19	● 電源プラグのお手入れ	35
● ディスクの入れ方	19	● 故障かな?と思ったら	36
● ディスクを入れる際のご注意	19	● 仕様	38
● ディスクの取り出し方	19	● 保証とアフターサービス	39
● CDの聞き方	20	● アフターサービスについて	39
● CDを再生する	20	保証書	裏表紙
● ラジオの聞き方	22		
● アンテナの感度を調整する	22		
● FM/AM放送を聞く	22		

● 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

■【記号の意味】

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

■【本文中に使われている絵表示の意味】

 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 指示を守る	 プラグを抜く
--	---	--	--	--	---

⚠ 警告



発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



電源コードのコネクターは、本体の電源コード接続端子に確実に差し込む

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



雷が鳴り出したら、電源コードに触れない

感電の原因となります。



落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

⚠ 警告



電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

禁止

- 傷つけない
- 延長するなど加工しない
- 加熱しない・引っ張らない
- 重い物を載せない・はさんだりしない
- 無理に曲げない・ねじらない
- 束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に物を置いたり、ダクトやすき間から異物を入れたりしない

金属類(クリップや針、コインなど)や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。

降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

次のような場所には置かない

- 風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- 雨、きりなどが直接入り込むような場所
- 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- 直射日光の当たる場所
- 炎天下の車内・ほこり、油煙の多い(調理場など)場所
- 振動の強い場所
- 腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
- 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



ほこりをとる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠ 注意



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



禁止

機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因となります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

コードが傷つき、けがや火災・感電の原因となります。



音量に注意

指示を守る

- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

プラグを抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源プラグは容易に手が届くコンセントに接続する

指示を守る

主電源スイッチを切っても電源から完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。



結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

指示を守る

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機やディスクのピックアップレンズなどに結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、CDを取り出して、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。



乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

指示を守る

- 単4形乾電池以外の電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてはいけない
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 使い切った乾電池は、リモコンから取り出す
- 水に濡らしたり、濡れた手で触れない
- 発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 著作権について

- CDを無断で複製、放送、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

Bluetooth[®]製品について

本製品は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の認証を取得したモジュールを内蔵しています。

以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解したり改造すること。
- モジュールに貼ってある認証ラベルをはがすこと。

2.4 F H 8

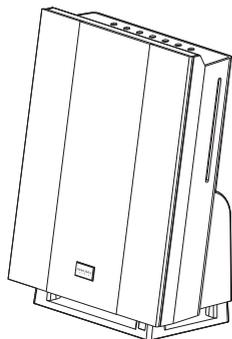
- 無線製品表示の説明
使用周波数：2.4GHz帯、 変調方式：FH-SS変調方式、 与干渉距離：80m

⚠ 注意

- 本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどや、医療用、産業用などや、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。そのため、本機と他の無線局とで電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用を停止するか、使用場所を移動してください。
- Bluetooth[®]のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社太知ホールディングスは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

梱包品

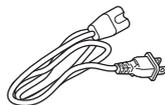
ご使用前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お問い合わせになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



CDクロックラジオシステム
AA-002(本機)



リモコン



電源コード
(約 1.8m)



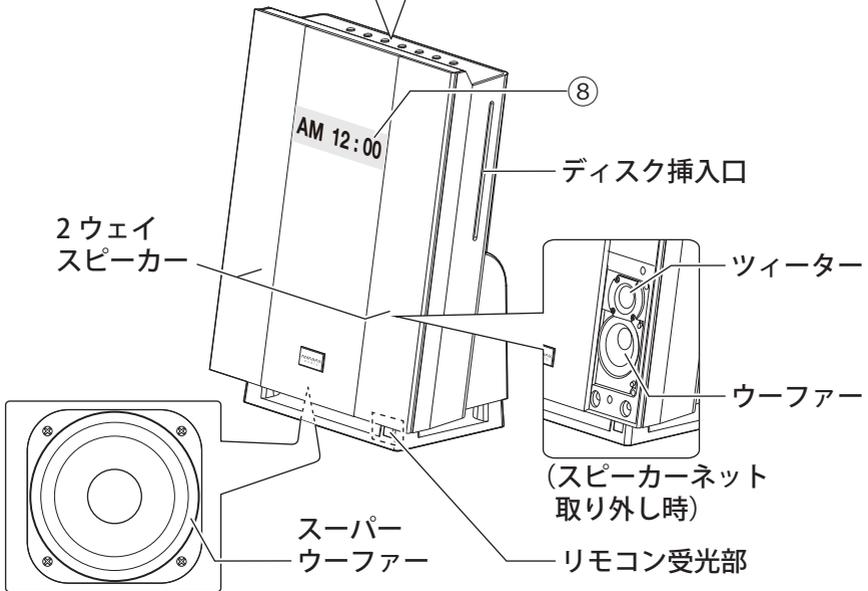
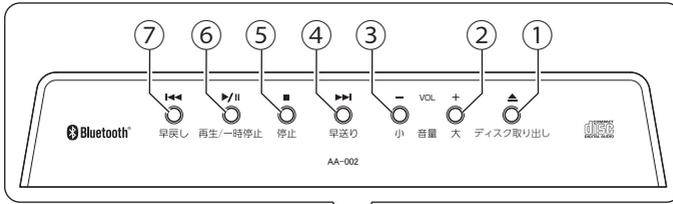
FM室内アンテナ
(約 1.5m)



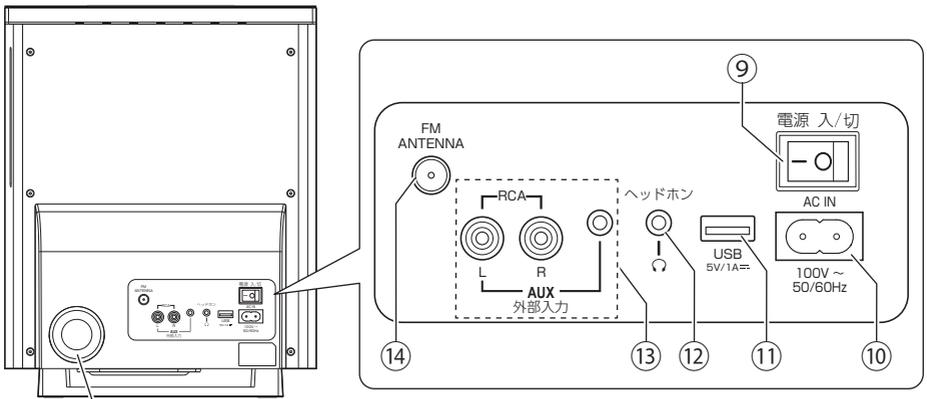
保証書付き取扱説明書
(本書)

各部の名前

前面部・上面部



後面部



① ▲ディスク取り出しボタン

CDを取り出すときは、このボタンを押します。

② 音量大 VOL+ ボタン

音量を大きくします。長く押すと、連続して音量を大きくします。

③ 音量小 VOL- ボタン

音量を小さくします。長く押すと、連続して音量を小さくします。

④ 早送り▶▶ボタン

[CD] :

次の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

[ラジオ] :

周波数が高くなります。長く押すと、連続して周波数が高くなり、受信できる局をサーチします。

[USB] :

次の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

⑤ 停止■ボタン

CDまたはUSB内の音楽データの再生を停止します。

長押しすると、スタンバイ状態になり時刻が表示されます。

⑥ 再生/一時停止▶||ボタン

[CD/USB/BT]

再生と一時停止を切り替えます。

長く押し度には本機の機能を下記のように切り替えます。

FM→AM→CD→USB→BT
↑ AUX(外部入力) ←

[スタンバイ時]

長く押すと、本機の電源が入ります。

⑦ 早戻し◀◀ボタン

[CD]

前の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

[ラジオ]

周波数が低くなります。長く押すと、連続して周波数が低くなり、受信できる局をサーチします。

[USB]

前の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

⑧ 表示部

各機能のそれぞれの状態を表示します。

[スタンバイ時]

時刻を表示します。

⑨ 主電源スイッチ

本機の主電源の入り・切りに使用します。

⑩ 電源コード接続端子

付属の電源コードを差し込みます。

⑪ USB接続端子

音楽データの入ったUSBメモリーを接続して、再生することができます。

DC5V1Aの出力があります。お手持ちのスマートフォンなどを充電することができます。

※ 本端子を使用して、接続した機器の損害に関して、当社は一切責任を負いません。

⑫ ヘッドホン端子

お持ちのイヤホンまたはヘッドホンを接続してください。

※ イヤホンまたはヘッドホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

⑬ 外部入力(AUX)端子

テレビの音声出力端子やスマートフォンのヘッドホン端子などを接続して、AUXモードにすると、本機のスピーカーから接続した機器の音声が出ます。

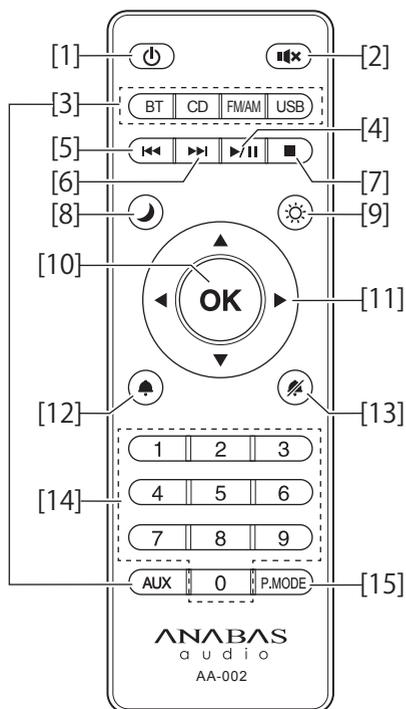
※ Φ3.5mmステレオ端子接続ケーブル、RCAピンケーブルは付属していません。

⑭ アンテナ接続端子

付属のFM室内アンテナを接続します。

※ [FM室内アンテナを接続する](P.11)をご覧ください。FM室内アンテナを接続してください。

リモコン



[1] 電源ボタン

本機の電源のオンとスタンバイを切り替えます。

※ 本機を長時間使わないときは、本体背面の主電源スイッチを使って電源を切ってください。

[2] 消音(ミュート)ボタン

ボタンを押すと再生中の音声が消えます。もう一度押すと元に戻ります。

[3] 入力切替ボタン

再生する音源を切り替えます。

[4] 再生/一時停止ボタン

再生と一時停止を切り替えます。

[5] 早戻し(リターン)ボタン

[CD]

前の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

[ラジオ]

周波数が低くなります。長く押すと、連続して周波数が低くなり、受信できる局をサーチします。

[USB]

前の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

[6] 早送り(ファストフォワード)ボタン

[CD]

次の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

[ラジオ]

周波数が高くなります。長く押すと、連続して周波数が高くなり、受信できる局をサーチします。

[USB]

次の曲に移動します。長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

[7] 停止(ストップ)ボタン

再生を停止します。

[8] スリープ(スリープ)ボタン

電源が切れるまでの時間を90分間から10分間まで10分間隔で設定できます。

90→80→70→……→20→10→00

[9] 輝度(輝度)ボタン

長押しすると、表示部の輝度の明と暗を切り替えます。

[10] OKボタン

通常表示と時刻表示を切り替えます。

[スタンバイ時]

長押しすると、時刻設定モードになります。時刻の設定をおこなっているときに押すと、選択した項目を決定します。

[11] ▲/◀▶/▼ ボタン

▲/▼ ボタンを押して、音量を設定します。

▲ ボタン：音量を大きくします。

▼ ボタン：音量を小さくします。

[CD]

◀ ボタン：早戻し◀◀ ボタンと同じ操作
ができます。

▶ ボタン：早送り▶▶ ボタンと同じ操作
ができます。

[ラジオ]

◀ ボタン：早戻し◀◀ ボタンと同じ操作
ができます。

▶ ボタン：早送り▶▶ ボタンと同じ操作
ができます。

[USB]

◀ ボタン：前のフォルダに移動します。

▶ ボタン：次のフォルダに移動します。

[スタンバイ時]

▲/▼ ボタン：時刻の設定をおこなっ
ているときに押すと、項目
を選択します。

[12] 📌 (アラーム) ボタン

[スタンバイ時]

長押しすると、アラームの設定状態にな
ります。

アラーム設定時に短く押すと、アラーム
の設定内容を表示します。

[13] 📌 (アラーム解除) ボタン

[スタンバイ時] [オン時]

長押しすると、アラームの設定を解除し
ます。

[14] プリセット (数字) ボタン

[CD/USB]

お聞きになりたい曲の番号 (トラック番
号) を直接選べます。

[FM/AM]

よくお聞きになる放送局を設定 (プリセッ
ト) します。

[15] 再生モード (P.MODE) ボタン

[CD/USB]

曲の再生中にボタンを押すと、現在の
再生モードを表示し、さらにボタンを押
すたびに再生モードを切り替えます。

ONE→ALL→RAM
←NORM←

再生停止中にボタンを押すと、好きな曲
の番号を選んでプログラムすることができ
ます。

● お使いになる前の準備

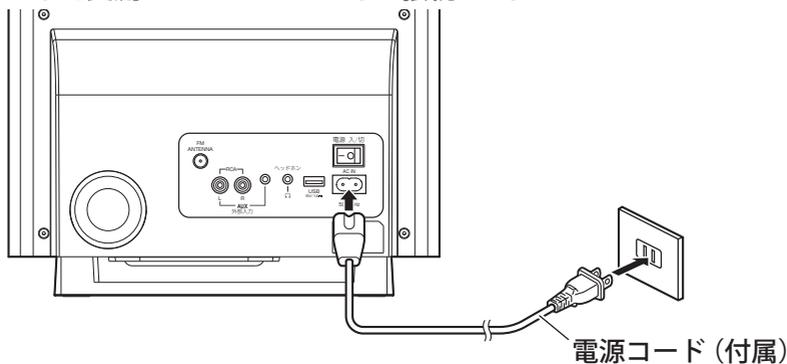
● 電源を準備する

1. 付属の電源コードのコネクターを本機背面の電源コード接続端子に奥までしっかりと接続します。



- ※ 付属の電源コードは本機専用です。
- ※ 付属の電源コード以外は使わないでください。
- ※ 付属の電源コードを他の機器に使わないでください。

2. 電源コードを交流100Vのコンセントに接続します。

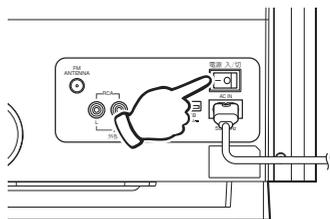


- ※ 濡れた手で電源コードの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。
- ※ 主電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントに接続してください。

●電源を入れる

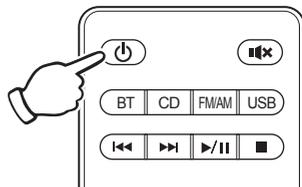
1. 本機背面の主電源スイッチの【-】側を押します。

- 「AM 12:00」が表示され、スタンバイ状態になります。
- 「時刻を合わせる」(P.13) をご覧になり、時刻を合わせてください。



2. 電源を入れるには、リモコンの【⏻】を押します。

- 本体の【再生/一時停止 (▶/II)】ボタンを長押ししても、電源を入れることができます。
- 「TUNER」が表示され、その後「FM 76.0MHz」が表示され、FMモードになります。
- 他のモードに切り替えるには、「機能を切り替える」(P.14) をご覧ください。
- 再度電源を入れると、最後に使ったモードになります。

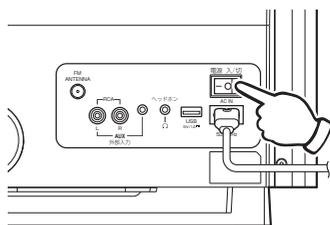


3. スタンバイ状態に戻すには、リモコンの【⏻】を押します。

- スタンバイ状態になり、時刻が表示されます。
- 本体の【停止 (■)】ボタンを長押ししても、スタンバイ状態に戻すことができます。

4. 電源を切るには、本機背面の主電源スイッチの【O】側を押します。

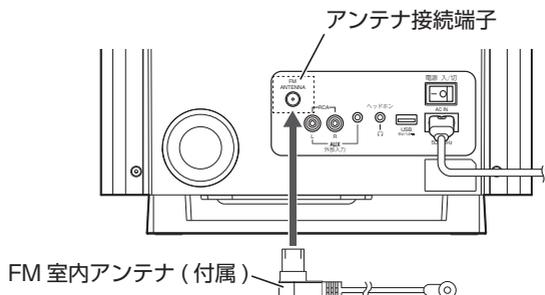
- 主電源を切ると、時刻の設定は消去されます。再度主電源スイッチを入れたときには、時刻を設定してください。



●FM室内アンテナを接続する

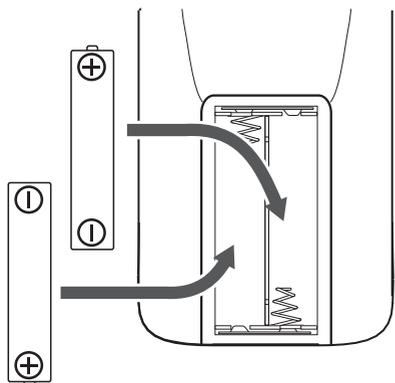
1. 本機背面のアンテナ接続端子に付属のFM室内アンテナを接続します。

- FM室内アンテナを接続した後に放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどでFM室内アンテナを固定してください。



●リモコンの電池を入れる

1. リモコン背面の電池ケースふたを外します。
2. 単4形乾電池（別売）の極性をよく確認して、電池ケースに2本入れます。



※ 充電式の電池はお使いにならないでください。リモコンの故障や感電の原因となることがあります。

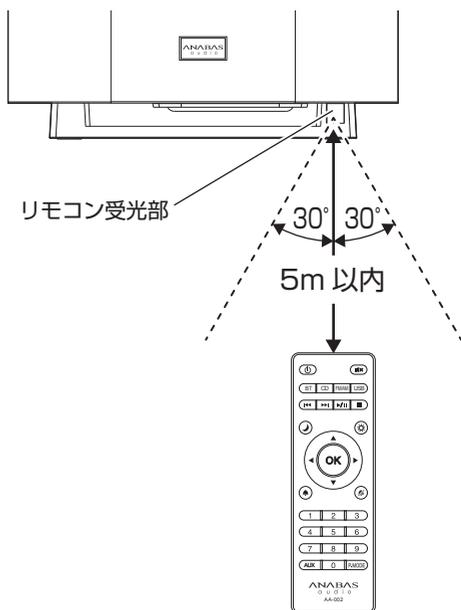
- 電池は付属しておりません。ご使用になる電池は、単4形アルカリ乾電池をお勧めいたします。

3. リモコン背面の電池ケースふたを取り付けます。

●リモコンの操作方法

リモコンの操作範囲は本機から約5mで、リモコン受光部から左右に各30度の範囲でお使いください。

1. リモコンを本機のリモコン受光部に向けて、各ボタンを押します。



●リモコン操作のご注意

リモコンは、赤外線を使っております。以下についてご注意のうえ、お使いください。

- 本機に直射日光や強い光を当てないでください。特にリモコン受光部に直射日光や強い光が当たるとリモコンが正しく動作しないことがあります。
- リモコンと本機のリモコン受光部の間に遮蔽物を置かないでください。リモコンからの信号が受信できず、本機が正しく動作しないことがあります。

リモコン受光部は、本機右下の脚部付近にあります。この部分をふさがないように使用してください。

● 基本的な使い方

● 時刻を合わせる

1. スタンバイ状態を確認します。

- 電源が入っていると、時刻を合わせることはできません。電源が入っているときは、リモコンの【0】ボタンを押してスタンバイ状態にしてください。電源が入っていると、電源入り表示が点灯します。このときも、リモコンの【0】ボタンを押して、スタンバイ状態にしてください。

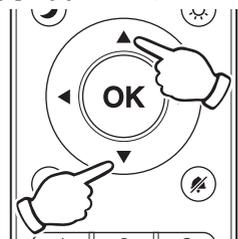
電源入り表示 → **AM 12:00**

2. リモコンの【OK】ボタンを表示部の時間が点滅するまで押します。



AM 12:00

3. リモコンの【▲】または【▼】ボタンを押して時間を合わせます。



AM 08:00

- リモコンの【▲】または【▼】ボタンを押すたびに、時間が変わります。
- リモコンの【▲】または【▼】ボタンを押し続けると、時間が速く変わります。

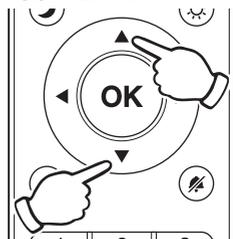
4. 時間を決定するには、リモコンの【OK】ボタンを押します。



- 分が点滅します。

AM 08:00

5. リモコンの【▲】または【▼】ボタンを押して分を合わせます。



AM 08:30

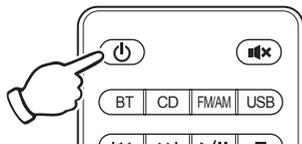
- リモコンの【▲】または【▼】ボタンを押すたびに、分が変わります。
- リモコンの【▲】または【▼】ボタンを押し続けると、分が速く変わります。

6. 分を決定するには、リモコンの【OK】ボタンを押します。

- これで時刻設定が完了です。

●機能を切り替える

1. スタンバイ状態を確認します。
2. 電源を入れるには、リモコンの【**⏻**】ボタンを押します。



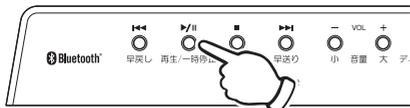
- 電源が入ると、時刻表示から前回使っていた機能の表示に変わります。

AM 08 : 30

TUNER

- 初めてお使いになる時、または初期化された後は、電源を入れると「TUNER」の表示の後に「FM 76.0MHz」が表示されます。

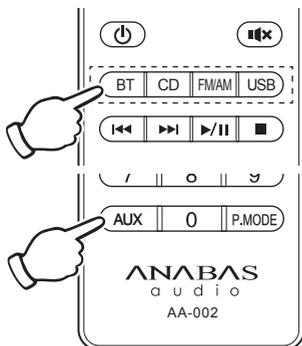
3. 機能を切り替えるには、本体の【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを長押しします。



- 本体の【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを長押しする度に、機能は以下のように切り替わります。

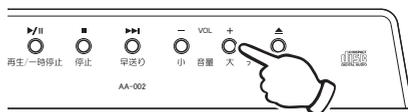
FM→AM→CD→USB→BT
←AUX(外部入力)←

または、リモコンの【入力切替 (BT、CD、FM/AM、USB、AUX)】ボタンを押します。



●音量を調整する

1. 音量を上げるには、本体の【音量大 (VOL+)】ボタンを押します。



または、リモコンの【**▲**】ボタンを押します。



VOL 10



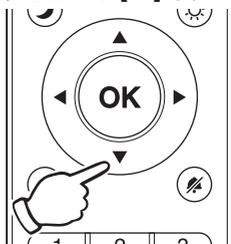
※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

- 音量設定の初期値は08です。主電源を切ると音量は初期値に戻ります。
- 音量は00～30の間で設定できます。
- 本体の【音量大 (VOL+)】またはリモコンの【▲】ボタンを押し続けると、音量を連続して大きくできます。

2. 音量を下げるには、本体の【音量小 (VOL-)】ボタンを押します。



または、リモコンの【**▼**】ボタンを押します。



- 本体の【音量小 (VOL-)】またはリモコンの【▼】ボタンを押し続けると、音量を連続して小さくできます。

●アラームを設定する

指定した時刻にラジオ、CD、USBまたはAUXをアラームとして再生できます。

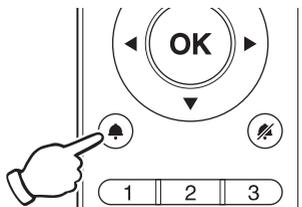
※時刻が設定されていないと、アラームを設定することができません。アラームを設定する前に、必ず時刻を設定してください。

※アラームの種類にラジオ (TUNER) を設定したときは、最後に聞いた放送局を受信します。

1. スタンバイ状態を確認します。

- 電源が入っていると、アラームを設定することはできません。電源が入っているときは、リモコンの【】ボタンを押して、スタンバイ状態にしてください。

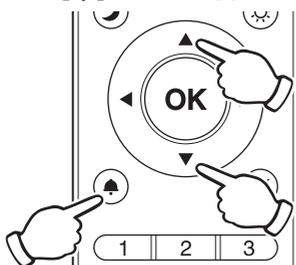
2. リモコンの【】ボタンを長押しします。



- 時間が点滅表示します。

AM 12 ÷ 00

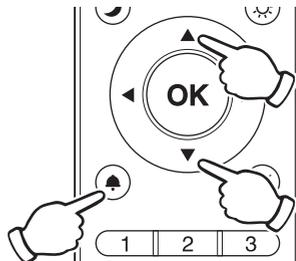
3. リモコンの【】または【】ボタンを押して、アラームが起動する時間を設定し、【】ボタンを押します。



AM 06 ÷ 00

- 時間を決定すると分が点滅表示します。

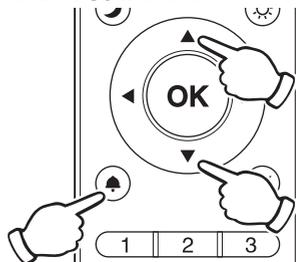
4. リモコンの【】または【】ボタンを押して、アラームが起動する分を設定し、【】ボタンを押します。



AM 06 ÷ 30

- 分を決定すると「TUNER」が点滅表示します。

5. リモコンの【】または【】ボタンを押して、アラームの種類を設定し、【】ボタンを押します。



TUNER

- アラームの種類は以下のように表示されます。

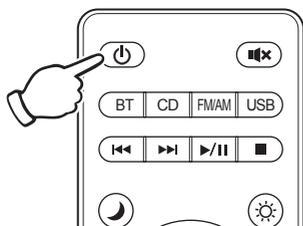
TUNER→CD→USB
↑AUX(外部入力)↓

6. リモコンの【】または【】ボタンを押して、アラームの音量を設定し、【】ボタンを押します。

- 音量を合わせると、アラームの設定が終了します。
- 設定が終了すると設定内容が表示された後に、現在の時刻表示になります。
- アラームの設定を確認するには、【】ボタンを短押しします。

● アラームの停止について

1. アラームが起動しているときに、リモコンの【】ボタンを押します。

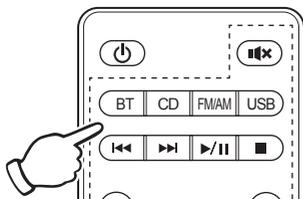


- アラームが止まります。
- 目覚しを停止しても、目覚しの設定は解除されません。毎日同じ時間に目覚しが起動します。

● スヌーズ機能について

アラームにはスヌーズ機能があります。スヌーズ機能は、一度アラームを止めても約5分後に再度アラームが起動します。

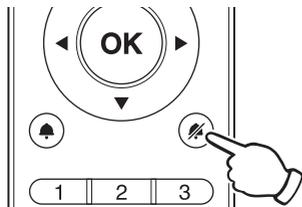
1. アラームが起動しているときに、リモコンの【】ボタン、【】ボタンまたは【】ボタン以外を押します。



- アラームは停止しますが、約5分後に再度アラームが起動します。

● アラームを解除する

1. アラームの設定を解除するには、リモコンの【】ボタンを長押しします。

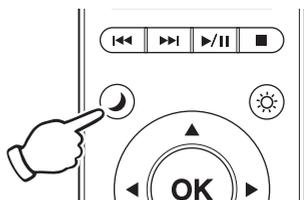


- アラームの設定が解除されます。

● スリープを設定する

ラジオや音楽を聞いているときに、電源が切れるまでの時間を設定できます。

1. 電源を入れ、機能を選びます。
2. リモコンの【】ボタンを何度か押し電源が切れるまでの時間を選択し、【OK】ボタンを押します。



- 電源が切れるまでの時間は、90分間から10分間まで10分間隔で設定できます。

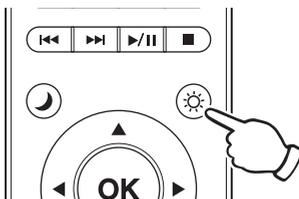
90→80→70→……→20→10→00

- スリープ時間を設定後、操作をしないで元の表示に戻ってもスリープ時間は設定されます。
- スリープ時間が「00」の表示になるまで【】ボタンを何度か押し、スリープは解除されます。
- 電源が切れるまで時間を確認するには、【】ボタンを短く押します。約5秒間残り時間が表示され、その後元の表示に戻ります。
- アラーム再生中にスリープボタンを押すと、スリープ設定モードになります。

● 表示部の明るさを変更する

表示部の明るさを明と暗の2段階で切り替えることができます。

1. リモコンの【】ボタンを長押しし、表示部の明るさを切り替えます。



- 表示部の明るさは、電源の入り切りに関わらず設定できます。

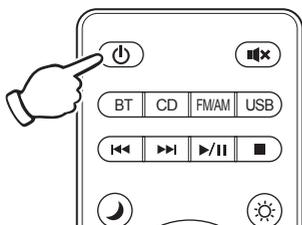
Bluetooth®を使っの音楽の聞き方

スマートフォンやポータブルオーディオなどのBluetoothの機能を持つ機器(以下、Bluetooth機器)内の音楽データを再生することができます。

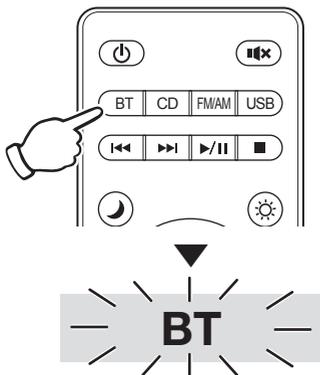


※ 対応しているBluetoothのプロファイルは、「A2DP v1.3、AVRCP v1.6」です。ただし、接続しようとする機器により、プロファイルが上記に対応していても、再生できない場合があります。

1. リモコンの【】ボタンを押し、電源を入れます。



2. リモコンの【BT】ボタンを押します。



3. Bluetooth機器と本機をペアリングします。

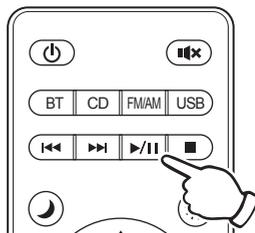
- ペアリング中は、表示部の「BT」が点滅します。
- Bluetoothのペアリングの方法は、お使いになるBluetoothの機能を持つ機器の説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器には、本機は「AA-002」と表示されます。
- ペアリングが完了すると、表示部の「BT」は、点灯になります。

4. Bluetooth機器の音楽を再生します。

● Bluetooth®を使っの音楽再生を操作する

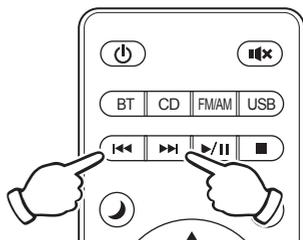
● 再生を操作する

1. 再生を一時停止するには、再生中にリモコンの【/||】ボタンを押します。再生を再開するには、リモコンの【/||】ボタンをもう一度押します。



● 曲の始めに移動する

1. 聞きたい曲に移動するには、リモコンの【/||】または【/||】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



● CD取扱上のご注意

● 使用できるCDについて

JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保障はしかねません。

■ CD-R/RWディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み取りに時間がかかることがあります。誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクに傷をつけることがあります。

- VCD（ビデオCD）は再生できません。

- ※ メディアの種類、録音時の設定（書き込みスピードなど）によっては再生できないか、音質が著しく悪い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 以下のCD、光ディスクは絶対に再生させないでください。

- DVD（音楽DVD含む）
- 音楽CDではないCD（データ記録用のものなど）
- 録音されていないCD-R/RW

- ※ 上記のものを再生すると大音量でスピーカーが破損、また、お聞きになった方の聴力に障害を及ぼす危険があります。

- 円形以外のCD、CD-R（ハート形、名刺形など）



- ※ 上記のものを挿入するとディスクが本体内部に落下し、ディスクが取り出せなくなったり、本体が故障するおそれがあります。

● CD取扱上の注意

再生面（ミラー面）、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけないようにしてください。

■ 持ち方

再生面（ミラー面）、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



■ お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。

レコードのように円状に拭かないでください。



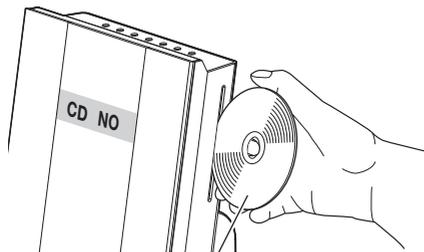
- ※ 市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。

鑑賞し終わったCDは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。

● CD 使用時のご注意

● ディスクの入れ方

- ディスクを入れるときは、必ず機能を CD にしてください。
※ 表示部の「CD NO」を確認してください。
- ディスクの再生面（ミラー面）を手前にして、ディスク挿入口にディスクを挿入してください。
- ディスクはディスク挿入口にゆっくり挿入してください。ディスクが引き込まれはじめたら、手を離してください。



ディスク再生面（ミラー面）

- ※ ディスクが挿入されていない場合、表示部に「CD NO」が表示されます。
- ※ ディスクが裏返しに挿入された場合、表示部に「CD MISS」が表示されます。
- ※ ディスクが正しく読み取れない場合、表示部に「CD MISS」が表示されます。



● ディスクを入れる際のご注意

- 本機は8cmディスクには対応していません。ディスク挿入口に8cmディスクを挿入しないでください。
- 8cmディスクアダプターは使用できません。
- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になります。また、ディスクを傷つけることとなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

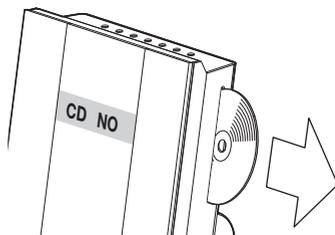
● ディスクの取り出し方

- ディスクの再生を停止し、本体の【ディスク取り出し(▲)】ボタンを押します。



- ※ 表示部に「CD OUT」が表示され、ディスクが排出されます。

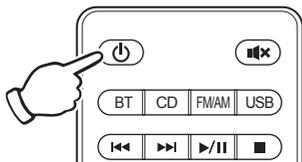
CD OUT



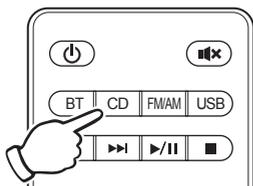
● CDの聞き方

● CDを再生する

1. リモコンの【】ボタンを押し、電源を入れます。



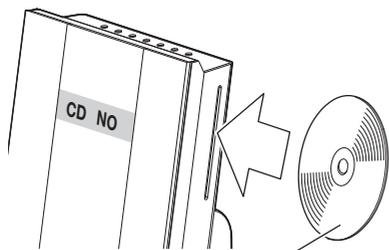
2. リモコンの【CD】ボタンを押します。



- CDが選ばれると、「CD」に続き「CD NO」が表示されます。

CD NO

3. ディスク挿入口に再生面(ミラー面)を手前にして挿入します。

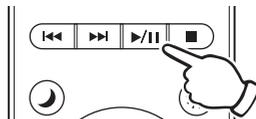


ディスク再生面(ミラー面)

- 「CD IN」が表示され、CDの総曲数(トラック数)が表示されます。
- ディスクが裏返し、または正しく読み取れないときは、「CD MISS」が表示されます。

CD MISS

4. リモコンの【】ボタンを押します。



- 曲の番号が表示された後に、最初の曲から再生が始まり、再生経過時間が表示されます。
- 曲が変わる度に、曲の番号が表示されます。
- CD再生中は、曲の再生経過時間(約15秒)と曲の番号(約3秒)が交互に表示されます。

CD 00:14



CD 001

- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。

5. 再生を一時停止するには、再生中にリモコンの【】ボタンを押します。

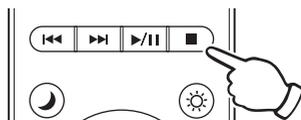


- 一時停止中は、再生経過時間が点滅します。

CD 01:15

- リモコンの【】ボタンをもう一度押すと、再生に戻ります。

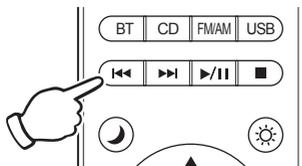
6. 再生を停止するには、本体またはリモコンの【】ボタンを押します。



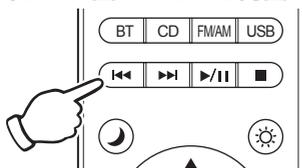
- CDの回転が止まり、総曲数の表示に変わります。
- 再生中に電源コードを抜くと本機の故障の原因となることがあります。必ずCDを停止させてから電源コードを抜いてください。

● 曲の始めに移動する

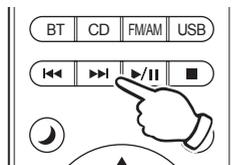
1. 再生中の曲の始めに戻るには、本体またはリモコンの【早戻し (◀◀)】ボタンを1回押します。



2. 聞きたい前の曲に戻るには、本体またはリモコンの【早戻し (◀◀)】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



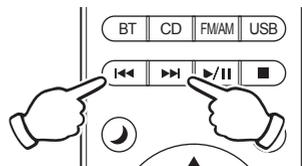
3. 聞きたい次の曲に進むには、本体またはリモコンの【早送り (▶▶)】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



- 停止または一時停止中に、本体またはリモコンの【早戻し (◀◀)】または【早送り (▶▶)】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生することもできます。
- リモコンの【◀】または【▶】ボタンでも、同じ操作ができます。

● 早送り/早戻し再生をする

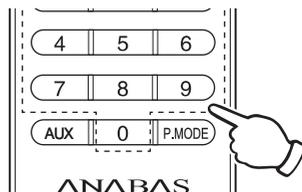
1. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上リモコンの【◀◀】または【▶▶】ボタンを押し続けます。



- 早送りは、曲を越えて行うことができます。
- 早戻しは、曲を越えて行うことはできません。
- リモコンの【◀】または【▶】ボタンでも、同じ操作ができます。

● 好きな曲番を直接再生する

1. 好きな曲番を直接再生するには、リモコンの【プリセット (数字)】ボタンで再生する曲の番号を押します。



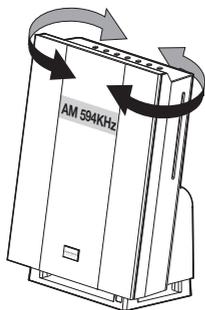
- 【プリセット (数字)】ボタンを押してから約2秒後に選曲した曲に移動します。
- 10曲目以上の曲番を選ぶときは数字ボタンを2秒以内で続けて押します。
- 収録曲数を超える数字が押されたときは最後に押された数字の曲番を再生します。

● ラジオの聞き方

本機はワイドFM (FM補完放送)に対応しています。ワイドFM (FM補完放送)とはAM (中波)放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の周波数90.1 ~ 94.9MHzを用いてAM放送局がFM放送をすることです。

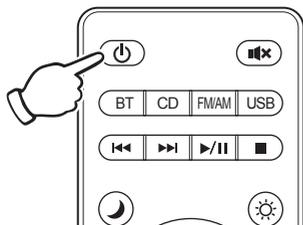
● アンテナの感度を調整する

- FM室内アンテナの接続については、「FM室内アンテナを接続する」(P.11)をご覧ください。
- AMアンテナは本機内に内蔵されていますので、本機の向きを変えてください。



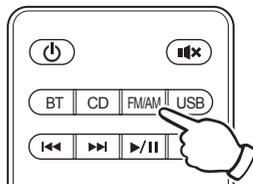
● FM/AM放送を聞く

1. リモコンの【】ボタンを押し、電源を入れます。



- 本体の【再生/一時停止 (/II)】ボタンを長押ししても、電源を入れることができます。

2. リモコンの【FM/AM】ボタンを押します。



- 本体の【再生/一時停止 (/II)】ボタンを何度か長押ししてもFMまたはAMを選べます。

FM76.0MHz

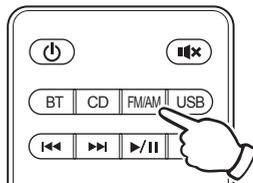
FM放送

AM 522KHz

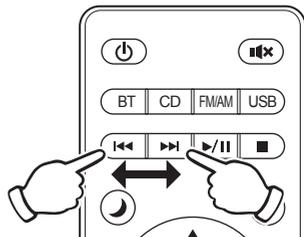
AM放送

- ワイドFM (FM補完放送)をお聞きになるときは、FMを選択してください。

3. AMとFMを切り替えるには、リモコンの【FM/AM】ボタンを押します。



4. リモコンの【】または【】ボタンを押し、聞きたい局に合わせます。

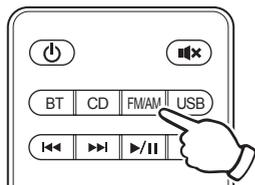


- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。
- リモコンの【】または【】ボタンでも、同じ操作ができます。

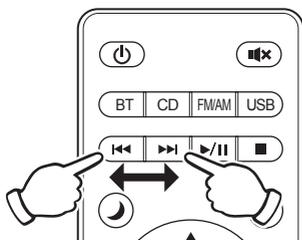
●受信できる局を探す (サーチ)

受信できる局を自動で探すことができます。

1. リモコンの【FM/AM】ボタンを押して、FMまたはAMを選択します。



2. リモコンの【<<<】または【>>>】ボタンを長押しします。



- ボタンから指を離しても、受信できる局になるまで、自動で周波数が変わります。
- 【<<<】または【>>>】ボタンを押すと、サーチは止まります。
- リモコンの【<】または【>】ボタンでも、同じ操作ができます。

3. 自動で受信できたことを確認します。

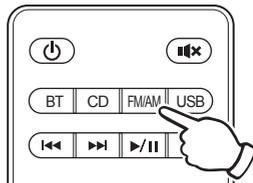
FM82.5MHz

- 電波の状態などにより、サーチをおこなっても受信できないことがあります。

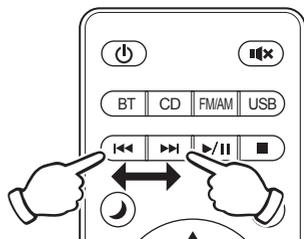
●よく聞く局を登録する (プリセット)

よくお聞きになる局をFM10局、AM10局の計20局まで登録できます。

1. リモコンの【FM/AM】ボタンを押して、FMまたはAMを選択します。



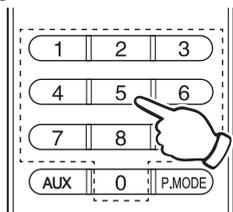
2. リモコンの【<<<】または【>>>】ボタンを押し、登録したい局に合わせます。



FM82.5MHz

3. プリセット番号として登録したい番号をリモコンの【プリセット(数字)】ボタンで長押しします。

- プリセットボタンの0は、プリセット番号10になります

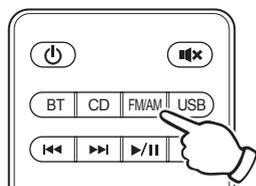


- プリセット番号が点滅表示します。

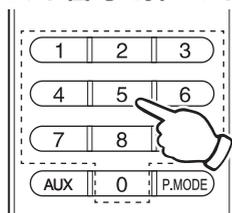
P 05

●プリセットした局を聞く

1. リモコンの【FM/AM】 ボタンを押して、FMまたはAMを選択します。



2. リモコンの【プリセット (数字)】 ボタンでプリセット番号を押します。



- 例えば「P05」にプリセットした局を聞くには、プリセットボタンで5と押してください。

FM P 05



FM82.5MHz

● USBメモリーの音楽の聞き方

● 音楽データを再生する前の準備

本機はUSBメモリー内の音楽データを再生することができます。(最大999曲)

※ 容量が大きいUSBメモリーを使用すると、USBメモリーが発熱し不具合が生じることがあります。メモリー容量32GB以下のUSBメモリーを使用してください。



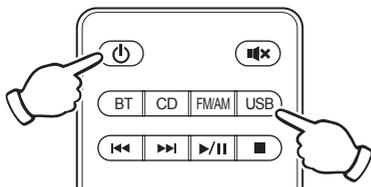
※ 再生できる音楽データはMP3、WMA*です。ただし、これらの音楽データでも、データの作成方法により再生できない場合があります。



Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

"WMA" (Windows Media Audio)は、米国マイクロソフト社の開発したオーディオコーデックです。

1. リモコンの【】ボタンを押し、電源を入れ、【入力切替(USB)】ボタンを押します。

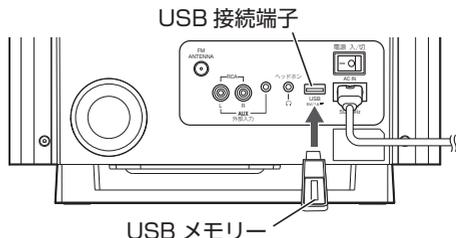


- USBが選ばれると、「USB」に続き、「USB NO」が表示されます。

USB

USB NO

2. 本体背面のUSB接続端子に音楽データが入ったUSBメモリーを接続します。



※ USBメモリーには向きがあります。向きをよく確かめて接続してください。無理に接続すると本機またはUSBメモリーを破損するおそれがあります。

- 再生できる音楽データが入っているフォルダ数が表示され、その後音楽データの数が表示されます。
- 一部のPC、アプリケーションで記録したUSBメモリーでは、音楽データの数が実際よりも多く表示されることがあります。

USB F03

USB 013

- フォルダを選ぶときはリモコンの【】または【】ボタンを押します。



※ USBメモリーとの相性によってUSBメモリーを挿したまま、機能を他の機能からUSBに切り替えるとデータが読めないことがあります。このようなときは一度USBメモリーを抜き、機能をUSBに切り替えてからUSBメモリーを接続してください。

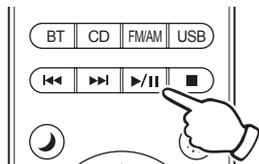
● USB接続端子の出力について

USB接続端子は、DC5V1Aの出力があります。お手持ちのスマートフォンなどを充電することができます。

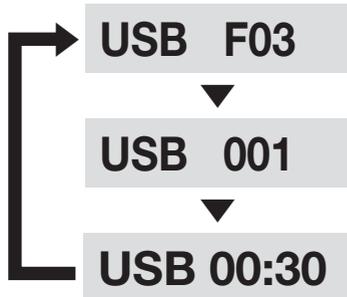
※ 本端子を使用して、接続した機器の損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●音楽データを再生する

1. リモコンの【▶/||】ボタンを押します。



- 曲の番号が表示された後に、USBメモリーに記録された順に曲が再生され、再生経過時間が表示されます。
- 曲が変わる度に、フォルダ番号、曲の番号が表示されます。
- USBメモリーの音楽を再生中は再生経過時間（約13秒）、フォルダ番号（約2秒）、曲の番号（約3秒）が交互に表示されます。



- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。

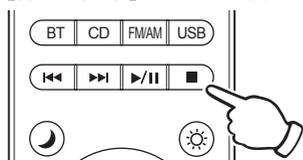
2. 再生を一時停止するには、再生中にリモコンの【▶/||】ボタンを押します。

- 一時停止中は、再生経過時間が点滅します。

USB 01:15

- リモコンの【▶/||】ボタンをもう一度押すと、再生に戻ります。

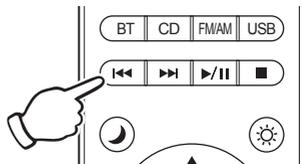
3. 再生を停止するには、本体またはリモコンの【停止(■)】ボタンを押します。



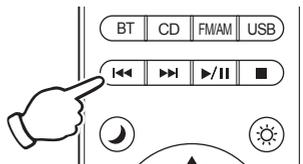
- 再生が止まり、総曲数の表示に変わります。

●曲の始めに移動する

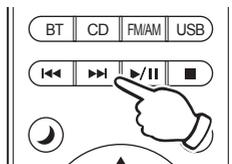
1. 再生中の曲の始めに戻るには、本体またはリモコンの【早戻し(◀◀)】ボタンを1回押します。



2. 聞きたい前の曲に戻るには、本体またはリモコンの【早戻し(◀◀)】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



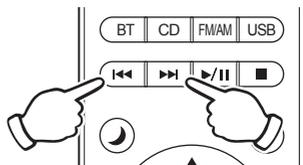
3. 聞きたい次の曲に進むには、本体またはリモコンの【早送り(▶▶)】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



- 停止または一時停止中に、【早戻し(◀◀)】または【早送り(▶▶)】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生することもできます。

●早送り/早戻し再生をする

1. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上リモコンの【◀◀】または【▶▶】ボタンを押し続けます。

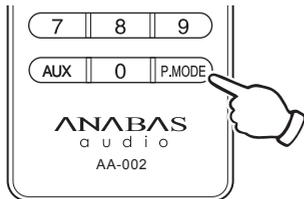


- 早送りは、曲を越えて行うことができます。
- 早戻しは、曲を越えて行うことはできません。
- 一時停止中も、早送り/早戻しを行うことはできますが、早送り/早戻しを停止した位置から再生を始めます。

● いろいろな聞き方 (CD/USB)

● 再生モードの表示

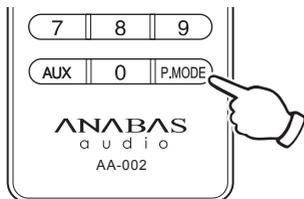
1. 曲の再生中にリモコンの【再生モード (P.MODE)】ボタンを押します。



- 現在の再生モードを表示します。
NORM: 通常再生モード
ONE: 1 曲リピート再生モード
ALL: 全曲リピート再生モード
RAM: 全曲ランダム再生モード

● 再生モードの選択

1. 再生モードを表示しているときに、リモコンの【再生モード (P.MODE)】ボタンを押します。



- 【再生モード (P.MODE)】ボタンを押すたびに、再生モードの表示が以下のように切り替わります。

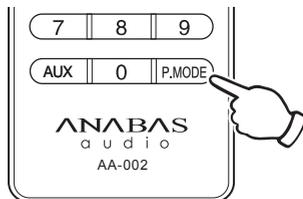
ONE → ALL → RAM
↑ NORM ←

1. 1 曲リピート再生モード (ONE)
1 曲をくり返し再生します。
 2. 全曲リピート再生モード (ALL)
全ての曲をくり返し再生します。
 3. 全曲ランダム再生モード (RAM)
全ての曲の順番をばらばらに再生します。
 4. 通常再生モード (NORM)
- 電源をスタンバイ状態にすると設定した再生モードは解除され、通常再生モードになります。
 - 再生中は曲の番号の次に再生モードが約2秒表示されます。(通常再生モードを除く)

● プログラム再生

再生停止中にリモコンの【再生モード (P.MODE)】ボタンを押すと、好きな曲の番号を選んでプログラムすることができます。

1. 停止中に【再生モード (P.MODE)】ボタンを押します。

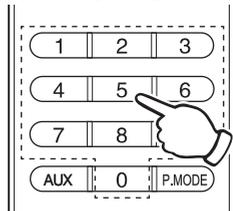


- プログラム選曲モードとなり、「P01」が表示され点滅します。



2. リモコンの【プリセット (数字)】ボタンを押してプログラムする曲の番号を入力します。

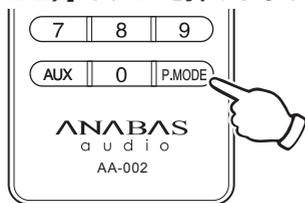
- 入力した曲の番号が表示され点滅します。



- この状態では、まだ1曲目のプログラムが完了していません。
- "005"が点滅しているときに約30秒間何も操作しないと、プログラム選曲モードは、解除されます。

(次ページに続く)

3. プログラムする曲の番号が点滅している間にリモコンの【再生モード (P.MODE)】ボタンを押します。



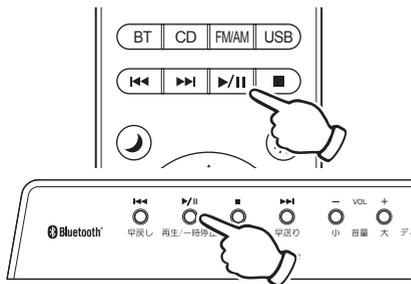
- 1 曲目のプログラムが完了し、“P02” が表示され点滅し、2 番目にプログラムする曲の番号の入力待ちになります。



- プログラム番号が点滅しているときに約 30 秒間何も操作しないと、プログラム選曲モードは解除されます。

4. 2～3の操作をくり返してプログラムする曲を全て入力します。

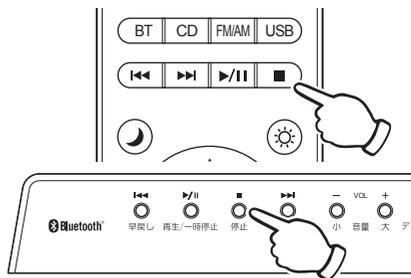
5. プログラムする曲の入力が全て完了したら、リモコンまたは本体の【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。



- プログラムした曲を順番に再生します。
- プログラムした最終曲の再生が終わると、プログラム再生は終了しますが、プログラムモードは解除されません。
- プログラム再生モード中、再生を停止してもプログラムモードは解除されません。
- プログラム再生モード中でも、1 曲リピート再生、全曲リピート再生をすることができます。
- プログラム再生モード中はランダム再生はできません。

●プログラムの解除

1. 停止中にリモコンまたは本体の【停止 (■)】ボタンを押すと、プログラムが解除されます。



- 電源をスタンバイ状態にしたときはプログラム再生モードを解除します。

●レジューム再生

音楽を再生中にスタンバイ状態にすると、次に電源を入れたときにスタンバイ状態になる前の場所から再生を開始します。

- 主電源を切ったときは、レジューム再生にはなりません。
- プログラム再生中にスタンバイ状態にした時もレジューム再生をおこないませんが、プログラム再生モードは解除されます。

● 時計表示の切り替え方

1. 電源が入っているときに、通常表示から時計表示に切り替えるには、リモコンの [OK] ボタンを押します。



- 通常表示が時計表示に切り換わります。

CD 00:30



電源入り表示 → **AM 08 : 30**

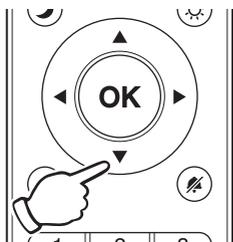
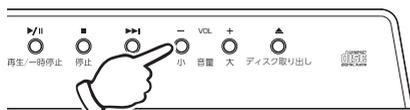
2. 時計表示から通常表示に戻るには、もう一度リモコンの [OK] ボタンを押します。
- 時計表示中に他の操作をおこなったときは、時計表示が解除され通常表示に戻ります。

● ヘッドホンの使い方

お持ちのΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンをお使いいただけます。

※イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

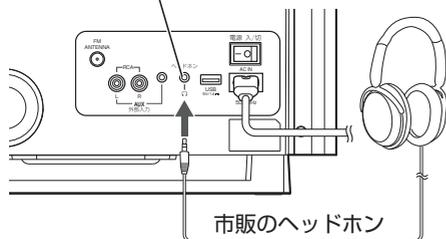
1. 本体の【音量小 (VOL-)】ボタンまたは、リモコンの【▼】ボタンを押して、音量を最小にします。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出して耳を傷めるおそれがあります。

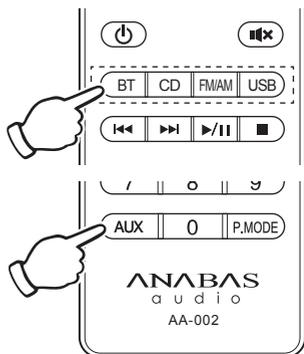
2. ヘッドホン端子にΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンケーブルを接続します。

ヘッドホン端子

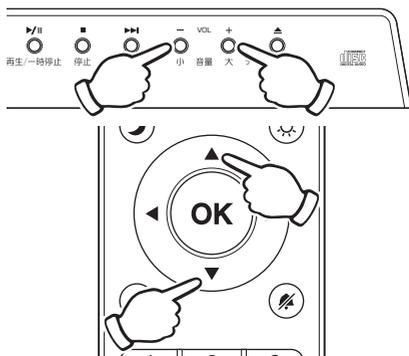


- イヤホンまたはヘッドホンケーブルが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

3. リモコンの【入力切替 (BT、CD、FM/AM、USB)】ボタンを押します。



4. 本体の【音量大 (VOL+)】または【音量小 (VOL-)】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。またはリモコンの【▲】または【▼】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。

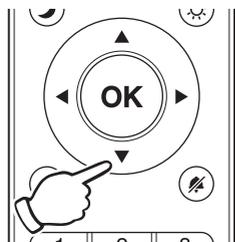
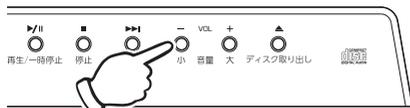


● 外部入力端子の使い方

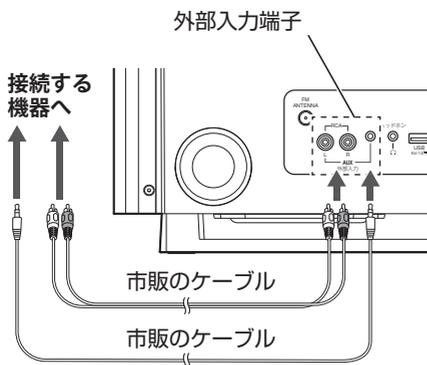
お持ちのΦ3.5mmのステレオケーブルまたはRCAピンケーブルをお使いいただけます。

※Φ3.5mmのステレオケーブルおよびRCAピンケーブルは付属していません。市販のケーブルをお買い求めください。

1. 本体の【音量小 (VOL-)】ボタンまたは、リモコンの【▼】ボタンを押して、音量を最小にします。

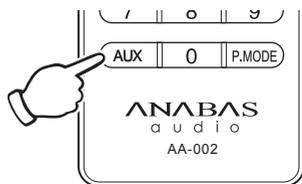


2. 外部入力端子のAUXまたはRCAと接続する機器の音声出力端子（ヘッドホン端子やRCA出力端子など）を接続します。



※ Φ3.5mmステレオケーブルとRCAピンケーブルを同時に接続するとΦ3.5mmステレオケーブルからの音声が優先され、RCAピンケーブルからの音声は出力されません。

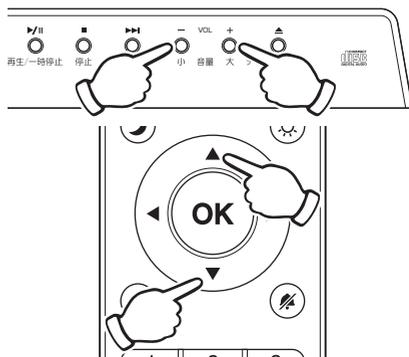
3. リモコンの【入力切替 (AUX)】ボタンを押します。



● 本体の【再生/一時停止 (▶/II)】ボタンを何度か長押ししてもAUXを選べます。

AUX

4. 接続している機器の再生をおこないます。
5. 本体の【音量大 (VOL+)】または【音量小 (VOL-)】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。またはリモコンの【▲】または【▼】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。

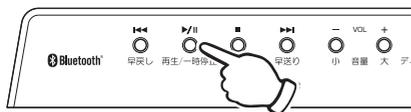


● リモコン無しで本機を操作する

付属リモコンを使わずに、本機を操作することができます。

● 機能を切り替える

1. 電源を入れるには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを長押しします。

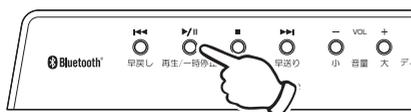


- 電源が入ると、時刻表示から前回使っていた機能の表示に変わります。

AM 08 : 30

TUNER

2. 機能を切り替えるには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを長押しします。

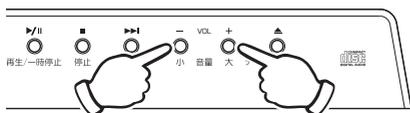


- 【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを長押しする度に、機能は以下のように切り替わります。

FM→AM→CD→USB→BT
←AUX(外部入力)←

● 音量の調整

1. 【音量大 (VOL+)】または【音量小 (VOL-)】ボタンを押して、聞きやすい音量にします。



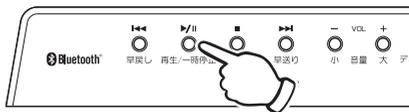
● リモコン無しでの各操作

- Bluetooth 機器の音楽の聞き方
1. 機能をBT (Bluetooth) に切り替えます。
 2. Bluetooth 機器と本機をペアリングします。
 - Bluetoothのペアリングの方法は、お使いになるBluetoothの機能を持つ機器の説明書をご覧ください。
 - Bluetooth機器には、本機は、「AA-002」と表示されます。

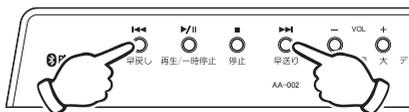
3. Bluetooth 機器の音楽を再生します。

● 本機でのBluetooth®機器の操作

1. 再生を一時停止するには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。再生を再開するには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。



2. 聞きたい曲に移動するには、【早送り (▶▶)】または【早戻し (◀◀)】ボタンを何回か押します。

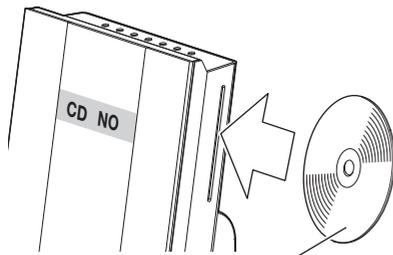


● CDを再生する

1. 機能をCDに切り替えます。

- 表示部の「CD NO」を確認してください。

2. ディスクの再生面(ミラー面)を手前にして、ディスク挿入口にディスクを挿入します。



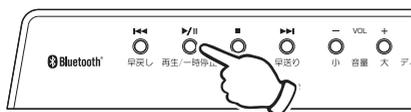
ディスク再生面(ミラー面)

- 「CD IN」が表示され、その後CDの総曲数(トラック数)の表示になります。

CD 013

総曲数(トラック数)

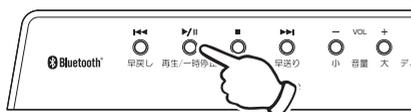
3. 【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。



CD 001

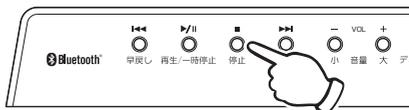
CD 00:01

4. 再生を一時停止するには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。



- 再生を再開するには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンをもう一度押します。

5. 停止するには、【停止 (■)】ボタンを押します。



6. 聞きたい曲に移動するには、【早送り (▶▶)】または【早戻し (◀◀)】ボタンを何回か押します。



- 再生中の曲の始めに戻るには、【早戻し(◀◀)】ボタンを1回押します。

7. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上【早送り (▶▶)】または【早戻し (◀◀)】ボタンを押し続けます。



● ラジオの聞き方

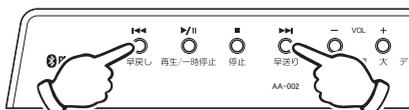
1. 機能をFMまたはAMに切り替えます。

2. 【早送り (▶▶)】または【早戻し (◀◀)】ボタンを押し、聞きたい局に合わせます。



FM82.5MHz

3. 受信できる局を探すには、【早送り ▶▶】または【早戻し ◀◀】ボタンを長押しします。



- ボタンから指を離しても、受信できる局になるまで、自動で周波数が変わります。

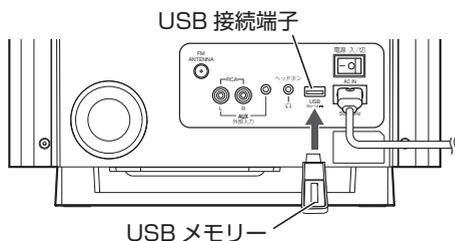
● USBメモリーの音楽の聞き方

1. 機能をUSBに切り替えます。



※ 再生できる音楽データはMP3、WMAです。ただし、これらの音楽データでも、データの作成方法により再生できない場合があります。

2. 本体背面のUSB接続端子に音楽データが入ったUSBメモリーを接続します。



※ USBメモリーには向きがあります。向きをよく確かめて接続してください。無理に接続すると本機またはUSBメモリーを破損するおそれがあります。

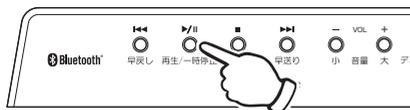
- 再生できる音楽データが入っているフォルダ数が表示され、その後音楽データの数が表示されます。

USB F03



USB 013

3. 【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。

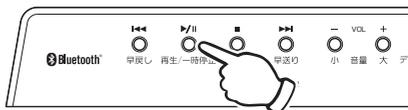


USB 001



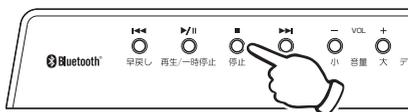
USB 00:01

4. 再生を一時停止するには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンを押します。

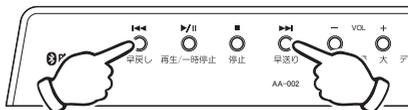


- 再生を再開するには、【再生/一時停止 (▶/||)】ボタンをもう一度押します。

5. 停止するには、【停止 (■)】ボタンを押します。

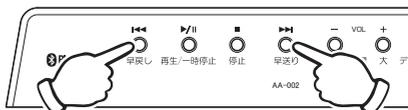


6. 聞きたい曲に移動するには、【早送り (▶▶)】または【早戻し (◀◀)】ボタンを何回か押します。



- 再生中の曲の始めに戻るには、【早戻し (◀◀)】ボタンを1回押します。

7. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上【早送り (▶▶)】または【早戻し (◀◀)】ボタンを押し続けます。



● お手入れ



- ※ お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ 電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

● 本体のお手入れ

- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
- ※ メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
- ※ みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● 電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- ※ みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。
それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
電源が切れない。	● リモコンの【○】ボタンを押すとスタンバイ状態になります。本機の電源を切るには、本機背面の主電源スイッチの【○】側を押してください。ただし、主電源スイッチで電源を切ると、時計の設定は初期状態に戻ります。再度、設定をおこなってください。
表示が出ない。	● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	● 音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。 ● 受信周波数は合っていますか。また、AM/FMは正しく選択されていますか。【◀◀】または【▶▶】ボタンを押してお聴きになりたい放送局に周波数を合わせてください。
USBメモリー内の音楽データが再生されない。	● USBメモリー内の音楽データをご確認ください。再生できる音楽データはMP3またはWMA形式の音楽データのみです。ただし、これらの音楽データでも、データの作成方法により、再生されないことがあります。
Bluetooth機器が再生されない。	● Bluetooth機器と本機は正しくペアリングされていますか。また、Bluetooth機器側のBluetooth機能はオンになっていますか。 ● Bluetooth機器のプロファイルは、本機に対応したものですか。本機で対応可能なプロファイルは、「A2DP1.3、AVRCP1.6」です。
スピーカーから音声が聞こえない。	● イヤホンまたはヘッドホンがイヤホン接続端子に接続されていませんか。イヤホンまたはヘッドホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
CDが再生されない。CD再生の音飛び。CD再生の音質が悪い。	● CDが正しく装着されているかご確認ください。CDが汚れている場合は、CDをクリーニングするか、別のCDで試してみてください。 ● ピックアップレンズが汚れている可能性があります。市販のCDレンズクリーナーを使ってクリーニングしてみてください。 ※ただし、市販のCDレンズクリーナーを使用して、生じた不具合に関して、当社は一切責任を負いません。 ● 一時停止状態になっていないかご確認ください。
時刻表示がAM12:00に戻る。	● 主電源スイッチを押して電源を切りませんでしたか。主電源スイッチを押して電源を切ると初期状態に戻り、時刻はAM12:00に戻ります。
アラームが正しく設定できない。	● 時刻は正しく設定されていますか。時刻が正しく設定されていないと、アラームを正しく設定することはできません。
アラームが何度も起動する。	● 本機のアラームにはスヌーズ機能があります。アラーム起動しているときに、リモコンの【○】ボタン、【⚡】ボタンまたは【⌂】ボタン以外のボタンを押すとスヌーズ状態になります。約5分経過すると、再度アラームが起動します。スヌーズ状態を解除するには、リモコンの【○】ボタンまたは【⚡】ボタンを押してください。

症状	ご確認ください
ラジオの音質が悪い。	<ul style="list-style-type: none">● 近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなることがあります。● AMアンテナは内蔵されていますので、ラジオの受信状態が良くない場合は、本機の置き場所を窓の近くに変えてください。● FM室内アンテナは正しく接続されていますか。ラジオの受信状態が良くない場合は、FM室内アンテナの向きや位置を窓の近くに変えてください。

仕様

品名	CDクロックラジオシステム	
型名	AA-002	
電源	100V ~ 50/60Hz	
消費電力	50W (待機時 5W)	
実用最大出力	10W (右チャンネル)、10W (左チャンネル)、 20W (スーパーウーファー)	
CD再生可能ディスク	音楽CD、CD-R、CD-RW	
受信周波数	ワイドFM対応 76.0 ~ 108.0MHz / AM 522 ~ 1710kHz	
再生可能音楽データ	MP3、WMA (最大999曲/USB1.1対応) (データ作成方法によりMP3、WMAでも再生されない場合があります)	
Bluetooth	登録番号	AA-002
	バージョン	5.0
	対応プロファイル	A2DP1.3、AVRCP1.6
外形寸法	約288(幅)×148(奥行き)×360(高さ)mm (突起含まず)	
質量	約5.4kg	
リモコン用電池	単4形乾電池×2本 ※乾電池は別売り	
付属品	電源コード、リモコン、FM室内アンテナ、取扱説明書(保証書付き:本書)	

※本機の外觀および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは行っておりません。

● 保証とアフターサービス

● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などをご記入のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては下記のご連絡先までご相談ください。

● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、下記のご連絡先までご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、弊社にて修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、下記のご連絡先までご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は下記のご連絡先までご相談ください。

● アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、下記のご連絡先までお問い合わせください。

持込み先または送付先

株式会社太知ホールディングス
サービスセンター

〒110-0005

東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階

☎03-5846-7211

メールでのお問い合わせ

E-mail :

taichitky@anabas.co.jp

ホームページ:

<https://www.anabas.co.jp>

電話でのお問い合わせ

☎0120-027-329

受付時間

月～金 午前10時～午後5時
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技 術 料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検



長年ご使用の機器の点検を!

このような
症状はあり
ませんか?

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体がいつもより異常に熱い。
- その他異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

ANABAS
a u d i o

CDクロックラジオシステム

AA-002

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<https://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話0120-027-329 FAX 03-5846-6639